

第2回 産業技術総合研究所 リマニュファクチャリング・シンポジウム ～サーキュラーエコノミー時代のものづくり～

リマニュファクチャリング（リマン）は、サーキュラーエコノミー実現へ向けてその推進が必要不可欠であり、ものづくりの競争力強化に対して重要な鍵となります。本シンポジウムでは、リマンの市場、ビジネス、技術、政策の最新動向を共有して、取り組むべき課題と展望を探るとともに国内のリマン事業の推進を目指し、産総研にリマンの研究拠点を形成する取り組みを紹介し、ポスターセッションでは多くの取り組み例を紹介し、幅広いネットワーキングにご活用頂く機会ともさせていただきます。

日時 2024年2月13日（火）

定員 120名（リアル）

13：30～17：30（受付開始13：00）

参加費
無料

会場 リアルとオンラインのハイブリッド開催（リアル中心）

リアル 産総研 臨海副都心センター 別館11F

〒135-0064 東京都江東区青海2-3-26 (<https://www.aist.go.jp/waterfront/ja/access/>)

プログラム

13:30-13:35 開会挨拶

中野 隆志（産総研 エレクトロニクス・製造領域 副領域長）

13:35-14:15 基調講演「サーキュラーエコノミー時代のリマンとリファービッシュの協働を目指して」

原田 幸明（一般社団法人サステナビリティ技術設計機構 代表理事）

14:15-14:40 企業取組「循環型社会に向けたキヤノンの取組み」

古田 清人（キヤノン株式会社 サステナビリティ推進本部 理事顧問）

14:40-15:00 発表「リマニュファクチャリングの研究開発拠点化に向けた産総研の取組み」

松本 光崇（産総研 製造技術研究部門 副研究部門長）

休憩 10分

15:10-15:35 企業取組「JALエンジニアリングの航空機パーツのリマニュファクチャリング」

中野 剛（株式会社JALエンジニアリング 事業推進部 マネージャー）

15:35-16:00 企業取組「信越電装の自動車パーツのリマニュファクチャリングの取組み」

池田 晶（信越電装株式会社 代表取締役副社長）

16:00-17:20 ポスター発表／ネットワーキング

休憩含む

17:20-17:30 閉会挨拶

三宅 晃司（産総研 製造技術研究部門 研究部門長）

参加申込

以下のサイト またはQRコード からお申込みください

<https://forms.office.com/r/aHzH1CCgyH>

申込締切

2024年2月8日(木)

※定員に達し次第、締め切りとさせていただきます。

※ポスター発表ご希望の方は1月25日までにお知らせください。

連絡先

シンポジウム事務局 鶴澤

E-mail: M-reman_sympto-ml@aist.go.jp

産総研

ともに挑む。つぎを創る。

AMRI
製造技術研究部門
製造技術研究部門



企業・団体ご発表予定（お申し込み順：敬称略）

国際環境政策研究所, JFEエンジニアリング, パナソニックホールディングス, キヤノン,
いすゞ自動車, 日立製作所, エヌ・ピー・シー

ご発表希望受付中

産総研発表予定

1	製造技術研究部門	松本光崇	産総研リマニコミュニティアクチャリング研究開発拠点 (RECO)	拠点概要説明	
2	製造技術研究部門	間野大樹	機械要素のリマニに関わる取り組み	設計・その他	
3	製造技術研究部門	北中佑樹	光化学溶液法コーティングによる難接着樹脂の表面改質		
4	製造技術研究部門	桑野玄気	テラヘルツ非破壊検査技術に向けた検出用吸収体	補修	
5	製造技術研究部門	中島智彦	PCSD法を用いる透明導電配線のインプロセスリマニ		
6	極限機能材料研究部門	山口渡	EV用電動モータのリマニ技術の開発		
7	製造技術研究部門	板垣宏知	プラズマを用いた積層造形用金属粉末の再利用技術		
8	製造技術研究部門	名越貴志	キネティックスプレーによる低温補修技術の開発		
9	製造技術研究部門	佐藤直子	粉末床熔融結合法を用いた金属部材の補修技術		
10	製造技術研究部門	瀬渡直樹	ワイヤDEDを使ったギア補修の試行		
11	製造技術研究部門	山田ムハマドシヤヒン	Breaking Boundaries towards Advanced Remanufacturing: SiC Deposition with Hybrid Aerosol Method		
12	分析計測標準研究部門	藤原健	その場で3次元データ化：可搬型・バッテリー駆動X線CT装置		診断・評価
13	センシングシステム研究センター	坂田義太郎	AEセンシングを応用した材料の機械的特性評価に関する研究開発		
14	分析計測標準研究部門	李志遠	時空位相シフト法による高精度な形状計測		
15	機能化学研究部門	新澤英之	近赤外光と機械学習を用いたプラスチックの非破壊劣化診断		
16	工学計測標準研究部門	渡邊真莉	三次元測定の精度保証に関する研究～修復形状のデジタル化に向けて～		
17	製造技術研究部門	佐藤治道	レーザー超音波法による欠陥検出技術		
18	製造技術研究部門	佐藤宏司	振動疲労積算センサを利用した余寿命判断技術		
19	安全科学研究部門	田原聖隆	ライフサイクルインベントリデータベースIDEAによる技術評価		